

vol.106

2019 年 12 月号

公益財団法人国際障害者年記念 ナイスハート基金

〒105-0022 東京都港区海岸 1-4-26 ゆうらいふセンター

電話：03-3434-2170 FAX：03-5401-0681

URL: <http://www.niceheart.or.jp/>



な い す は あ と



ふれあいのスポーツ広場亀山大会の様子【第二競技 ホール・イン・ワン】

表紙／写真 ふれあいのスポーツ広場亀山大会の様子	1
報告／ふれあいのスポーツ広場開催報告	2
(公財) 国際障害者年記念ナイスハート基金 業務執行理事 鈴木 啓之	
報告／2019 年度下半期ふれあいのスポーツ広場開催報告	4
感想／ノンバーバルコミュニケーションワークショップ in ひろしま	5
報告／ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究	6
お知らせ／賛助会員御礼他	8



公益財団法人 国際障害者年記念 ナイスハート基金事業に就任して



(公財) 国際障害者年記念ナイスハート基金

業務執行理事 鈴木 啓之

2019年度 第2回評議員会 / 第4回理事会 (9/24) にて、理事・業務執行理事に承認され3ヵ月が経ちました。

公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金事業について、自動車産業に係わる多く皆様に改めて知って頂くとともに参加(体験)して欲しいと感じたところです。

■公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金は、国際障害者年の趣旨を踏まえ、障害のあるなしに係わらず、すべての人々がよりよい社会づくりのために協働し、ナイスハート(心のふれあい)の輪を広めるための事業を行い、障害者の福祉の増進及び共生社会の実現に寄与することを目的としています。

■事業内容は、

- ①スポーツや音楽などを通じて、協働してナイスハートの輪を広げる『ふれあいの広場』の実施
- ②『ふれあいの広場』実施のためのプログラム開



①ロープ送り競技



②ローレ・イン・ワン競技

発・普及および指導者の育成

③プログラム開発のための調査・研究

④その他、この法人の目的達成するために必要な事業

◆ふれあいスポーツ広場事業とは

【ふれあいスポーツ広場の変遷】

- ・1981年(昭和56年)より、ユニバーサルスポーツを通じて障害のあるなしに関わらず、楽しみながら相互理解を進める場として実施(日産労連と協働開催)
- ・1992年に自動車総連結成20周年記念事業として、参加型福祉活動を全国7会場で実施
- ・さらに全国47都道府県での開催を目指し、2017年～2018年度末には47会場で実施

ふれあいスポーツ広場は、スポーツや音楽などを通じて楽しみながらの参加型体験事業として自動車総連、各地方協議会・議長を中心に総連傘下組合員を実行委員(ボランティア)100名と参加者(選手)250名を目安に募り、総勢350名規模で実施しています。昨年(2018年度)より、全国47都道府県での開催へチャレンジし、自動車総連・各



地協組合員の皆さんと共に実現できました。引き続き今年度も 47 都道府県での開催へ向けて推進しており、11/25 現在で 45 地域での開催を終えることができました。

◆ふれあいスポーツ広場に参加して

ふれあいスポーツ広場 6 会場（千葉・和歌山・群馬・鳥取・島根・東京）へ参加して、この事業（活動）の素晴らしさを体験させて戴きました。

参加者とふれあうことで得られる感動、そして、人としての大切さを実感できる地域社会福祉活動であると思います。

ふれあいスポーツ広場は、早朝からの実行委員（ボランティア）による万全なる準備をし、議長による開催宣言とプロの司会による開会式でスタート（競技種目は 3 種類）、まず初めに①ロープ送り競技、長いロープを選手が隣の人へ順次廻して行き速さを競う競技、そこに実行委員（ボランティア）でサポートする。チーム連帯・つながりを体験できる競技です。

次に②ホール・イン・ワン競技は、パラシュートを広げて音楽と共にパラシュートを揺らし、右に廻し、ボールを入れ、中央の穴にボールを早く落とす競技です。

そこに実行委員（ボランティア）も加わり一体感を体験できる競技です。

最後は③風船バレー競技、実行委員（ボランティア）が人間ネット壁となり、風船を相手側へ多くを入れた方が勝ちとなる競技です。

④アトラクションは、昼食後に司会者（タレント）による楽しめる歌や和ませる漫談（マジック）で盛り上げを図っています。

⑤ユニバーサル・レクリエーションは、ご当地ゲーム・輪になって運ぼう・ジャンボリレー・フライングディスク・アダブテッドエアロビックスなどを通じて参加者全員が楽しめ、ふれあえる競技です。

最後に⑥みんなで歌おうでは、参加者全員で大きな輪となって「世界で一つだけの花」を歌い一体感のある閉会式となります。

実行委員（ボランティア）の皆さんも、恐らく参加者との取っ掛かりでの戸惑い、スポーツ・音楽を通じてふれあい、一体感が生まれ、得られた笑顔と共に有難う〜と、また会いましょうの言葉の掛け合いに加え、ハイタッチが何とも言えない（美しい）体験だったのではないのでしょうか！

この素晴らしい体験を沢山の組合員の皆さんに味わってもらいたいと思います。また、今後も更なるこの事業の発展に寄与していきたいと考えています。

【コラム】

■国際年とは

⇒国連は、世界的規模で取り組むべき 1 年ごとの重要課題を総会で決定し、会議を主催し、研究の進展をはかり、それによって課題に対する各国の注目を促し、国際平和と協調の精神を養い、経済・産業の発展を図ることとした。

■国際障害者年とは

⇒国際年の一つで、1981 年のテーマ障害者『完全参加と平等』

◇1981 年（昭和 56 年）は、国際障害者年

◇1982 年（昭和 57 年 8 月）に総理府の許可を得て、（財）ナイスハート基金を設立された。



2019年度下半期ふれあいのスポーツ広場開催報告

2019年度のふれあいのスポーツ広場について、下半期の開催報告を致します。下半期は21都府県の開催となりました。沖縄県の豊見城大会は2020年3月9日開催予定です。来年度も自動車総連のみなさまと共に、多くの参加者と笑顔溢れる大会となりますように準備を進めて参ります。

No.	開催地	日程	会 場	参加者数
25	滋賀（竜王）	9月29日（日）	竜王町ドラゴンスポーツセンター	283
26	広島（広島）	10月5日（土）	マツダ体育館	384
27	青森（青森）	10月7日（月）	新青森県総合運動公園マエダアリーナ	384
28	秋田（秋田）	10月8日（火）	秋田県立武道館	368
29	山梨（甲府）	10月9日（水）	山梨県緑が丘スポーツ公園体育館	242
30	熊本（人吉）	10月12日（土）	人吉スポーツパレス	452
31	新潟（新潟）	10月16日（水）	新潟市西川総合体育館	245
32	佐賀（小城）	10月20日（日）	小城市三日月体育館	303
33	長崎（長崎）	10月21日（月）	長崎県立総合体育館	327
34	千葉（千葉）	10月21日（月）	千葉公園スポーツ施設体育館	336
35	和歌山（和歌山）	10月23日（水）	和歌山県立体育館	452
36	埼玉（桶川）	11月2日（土）	桶川サン・アリーナ	254
37	群馬（前橋）	11月2日（土）	ヤマト市民体育館前橋	221
38	静岡（三島）	11月9日（土）	横浜ゴム三島工場体育館	319
39	鳥取（米子）	11月11日（月）	どらドラパーク米子市民体育館	229
40	島根（松江）	11月12日（火）	松江市総合体育館	360
41	三重（亀山）	11月16日（土）	亀山市西野公園体育館	247
42	東京（日野）	11月16日（土）	日野市南平体育館	270
43	大阪（大阪）	11月20日（水）	大阪府立体育会館	545
44	愛知（西尾）	11月23日（土）	西尾市総合体育館	235
45	大分（中津）	11月26日（火）	ダイハツ九州アリーナ	255
46	神奈川（横浜）	12月8日（日）	日産自動車横浜工場体育館	中止順延
47	沖縄（豊見城）	3月9日（月）	豊見城市民体育館	
下半期合計（沖縄県除く）				6,711
上半期合計				7,988
年間合計（沖縄県除く）				14,699

♪参加者の感想とプログラム♪

ノンバーバルコミュニケーションワークショップ in ひろしま

前号で報告させていただきましたノンバーバルコミュニケーションワークショップ in ひろしまの参加者による感想とプログラムを一部紹介させていただきます。

プログラム	写真	プログラム	写真
ミラーリング		変身ショー	
エアーなわとび		人形ゆらし	

「ノンバーバルコミュニケーションワークショップに参加して」

この度は「ノンバーバルコミュニケーションワークショップ」に参加させていただきありがとうございます。

「ノンバーバルコミュニケーション」というのは、非言語を使ったコミュニケーションということで楽しそうな企画だなと感じ、ワクワクとドキドキをかかえながら当日を迎えました。

当日は利用者みなさんも何が始まるのだろうという表情でしたが、演者の庄崎さん、メイミさんが登場してからは、だんだんと笑顔が増えていくのが見られました。

最初は見ていただけだった利用者でしたが、一緒に体を動かしていくうちに一体感が増していき、いつの間にかみんな楽しんでいく様子に感動しました。

利用者の代表が前に出て、ミラーリングを行うことで、受け身から主体性が生まれ、さらにイベントが盛り上がるのを感じました。そうすると利用者も「自分も、自分も」という感じで積極的になっていきました。

また、こだわりのある利用者に対して職員では

行わないコミュニケーションをどんどん行っていかれ、不安になることもありましたが、そんな不安を他所にみなさん楽しんで参加していました。

最後は見守るだけだった職員もいつの間にか、お二人に引き込まれ一緒に楽しんでいました。

このワークショップを通じて、言葉だけではなくコミュニケーションの取り方、表情を見ながら少しずつ距離感を縮めていく様子など勉強になることばかりでした。また利用者の新たな一面を見ることができたことも、大きな財産になりました。

庄崎さん、メイミさんのお二人が汗をいっぱいにかきながら、笑顔で利用者と接していくことに利用者だけでなく、私たち職員も大きな力をいただきました。

最後に今回のワークショップを企画してくださいました（公財）国際障害者年記念ナイスハート基金関係者のみなさま、ファシリテーターの庄崎隆司さま、メイミさまこのような機会を設けていただけたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究

～障害福祉サービス事業所を拠点として～

実施主体：有識者による研究会

- ・藤田 紀昭さん 日本福祉大学スポーツ科学部長・教授
 - ・金山 千広さん 立命館大学産業社会学部教授
 - ・林田 はるみさん 桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部教授
- 公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

～研究の背景～

当基金は設立以来、障害の有無に関わらず、楽しみながら行うことのできるプログラムを開発、提供しながら、障害、障害のある方について学べる場を提供してきた。とりわけ、「ふれあいのスポーツ広場」は、1992年から自動車総連様のご協力を得て全国的に実施し、2018年度には47都道府県全てにおいて開催することができた中核的なプログラムである。

1992年度から延べ24万人を超える方にご参加をいただき、障害福祉サービス事業所、障害者団体の皆様にご協力いただいていた。多くの障害福祉サービス事業所では、社会参加の一環としてスポーツを位置づけ取り組んでいる団体もあり、福祉サービスの提供のみに拘らず、障害のある方の社会的な障壁を取り除くための活動を進めている状況がある。

一方、ユニバーサルスポーツとして、障害の有無に関わらず行うことのできるスポーツプログラムを提供する団体も徐々に増え、2020年のパラリンピック開催を契機に多くの取り組みが行われている。

～研究の目的～

当基金の設立目的である、よりよい社会づくりのために協働し共生社会づくりへの一助とするため、障害福祉サービス事業所及びユニバーサルスポーツの提供団体と連携し、障害の有無に関わらず行うことのできるスポーツプログラムの充実に寄与することを目的に、この研究を実施する。

- (1) 障害福祉サービス事業所におけるユニバーサルスポーツの取組の状況を明らかにする。
- (2) 地域を基盤とした、社会参加のためのユニバーサルスポーツの実例と障害福祉サービス事業所との連携の状況を明らかにする。

～調査対象・期間～

期間：2019年度～2020年度の2年間

調査対象：

2019年度 - 事例研究

- ・ユニバーサルスポーツ実施団体及び障害福祉サービス事業所等のスポーツに関わる活動の事例研究

2020年度（予定） - 障害福祉サービス事業所の調査票調査

- ・ふれあいのスポーツ広場参加の障害福祉サービス事業所に対する調査

～ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究中間報告～

去る7月23日に有識者による研究会メンバー3名と第1回ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究事業の会合を開きました。

この調査研究の意義や目的について議論を交わした後、調査の対象及び調査先について候補を絞って頂きました。

その後ユニバーサルスポーツプログラムの事例研究及び障害福祉サービス事業所等のスポーツに関わる活動の対象となる団体様から随時ヒアリング調査を実施致しましたので、その中間報告をさせていただきます。

詳細な調査内容に関しましては、来年の3月に当基金ホームページに掲載する予定です。ヒアリング調査にご協力頂きました各団体の皆様には心から御礼申し上げます。

調査日	団体名	主な競技・行事
8月27日	めぐろスローエアロビックサークル	スローエアロビック
8月29日	(NPO) ジャパンユニバーサルスポーツ・ネットワーク	おおたユニバーサル駅伝大会
8月30日	(NPO) スポネット弘前	ユニバーサルスポーツクラブ / ボッチャ
9月3日	NPO 法人 クラブしっキーず	フライデーナイト・サタデークラブ / 車いすバスケット
9月6日	(NPO) 越前市障がいスポーツクラブ	ソフトバレー・フライングディスク他多数
9月6日	春江町総合型地域スポーツクラブ UNITIVE291	卓球バレー・ボッチャ・スポーツチャンバラ
10月2日	(一社) 日本ウォーキングサッカー協会	ウォーキングサッカー
10月30日	日本ふうせんバレーボール協会	全国ふうせんバレーボール大会
10月31日	日本卓球バレー連盟	卓球バレー
12月10日	共生・共走マラソン実行委員会	共生・共走リレーマラソン
12月11日	日本パラアーティスティックスイミング協会	パラアーティスティックスイミングフェスティバル



ありがとうございました～自動車総連 様 寄附金贈呈式

多大なご協力を毎年いただいている、自動車総連（会長 高倉明）様より、6,600万円のご寄付を頂戴いたしました。去る10月29日に贈呈式が行われ、当基金瀬田代表理事が出席し、ご厚志をいただきました。

経済情勢がまだ厳しい状況にも関わらず、変わらぬご支援をいただき感謝にたえません。心からお礼申し上げます。

いただきました資金は、全国の障害のある方とのふれあいの場をさらに広げていくために活用して参ります。ありがとうございました。



ユニバーサルスポーツワークショップを開催します

当基金は、ふれあいのスポーツ広場のプログラムの指導やご提供をいただいている、日本福祉大学スポーツ科学部 学部長 藤田紀昭先生、兒玉友先生と仙台ユニバーサルスポーツ研究会代表の佐藤一樹さん、そして西九州大学 アダプテッド・スポーツ研究会の山田力也先生の皆さんにご協力頂き、障害の有無に関わらず楽しみながら取り組むことのできるユニバーサルスポーツのワークショップを下記の内容で実施致します。

日程：2020年2月20日（木）～2月22日（土）

会場：西九州大学 神埼キャンパス他

参加者（予定）：40名



ナイスハートなご支援をありがとうございました

2019年9月から12月の間に、当基金へ賛助会員加入や寄付金並びに特定寄附金を頂戴いたしました。いただきました資金は、それぞれの活動のために有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

106,NICE HEART 8

【寄附金】 斉藤信之様

【特定寄附金】 わーくびれっじみのり様

